株式会社三共テクノソリューションズ

風の力を〝まち〟の力に変える お手伝い

■家族のような環境の中で 誰でもチャレンジできる職場です

秋田の大地を吹き渡る風。その力を電気に変える巨大な風車の修理・修繕、保守管理を私たちは行っています。地上に建設される風車の大きさは80ｍ以上のものもあり、そんな地域に新しい活力をもたらしてくれる巨大な風車は、効率や寿命を延ばすための細やかな各機構の修理・修繕、保守管理が欠かせません。仕事上危険を伴う場合もあるため、単独作業は無くグループで声を掛け合い、常に一人ひとりが安全を意識しながら作業を行っています。

自分が点検した風車が回っているのを見たときや、風力発電という安心して活用できるエネルギーを作るお手伝いをしていることにやりがいを感じます。従業員の平均年齢も若く、家族のような職場環境の中で未経験者でも一から仕事を覚えることができ、経歴に関わらず誰でもチャレンジできる職業です。

次世代の純国産エネルギーとなる風力発電が秋田の産業の中で注目されているのは間違いありません。風車技術の向上とともに、メンテナンスを行う技術者もまた、今後注目され求められる存在です。

企業情報

当社は、これまで風車に携わってきた経験を活かし風車メンテナンスの需要への対応と、不足する技術者の育成に取り組んでいく事を目的として平成27年１月に設立しました。

より一層の技術向上を目指し、風車の保守点検、修理、ブレード（羽部分）のロープアクセスなどの業務を主軸として、再生可能エネルギー機器の次世代のエネルギー供給を支えるとともに、発電システムの長寿命化、事業収益の向上を実現する会社です。

従業員の平均年齢も若く、上は50歳、下は21歳と活気に溢れ、家族的な明るい職場となっています。

▷所在地　にかほ市平沢字出ケ沢 1-1
▷主な業務　風車メンテナンス事業
▷従業員数　13人
▷電　話　32-3866
▷ファクス　32-3866
▷e－mail　s-dai@sanken-web.co.jp
▷ホームページ　https://sankyotechno-solutions.com/

市では、「にかほbizまるっと！」に掲載する市内企業を募集しています。
若者や女性の採用に積極的な企業やイチ押しの魅力などを持っている企業を紹介します。
詳細は市ホームページをご覧いただくか、商工政策課（☎43－7600）までお問合せください。

市長コラム
創造を想像する

感謝の想いがつなぐふるさと納税

■昨年度の「ふるさと納税」は…

昨年度のにかほ市のふるさと納税実績は、納税件数２、２０２件、納税額３、８１８万８千円で、一昨年度に比べて、件数にして８９１件、額にして１、４３８万円の増加となりました。

このように数字が伸びたのは、にかほ市の特性を考慮しながら、これまでの取り組みの見直しを行い、改善を図ってきたからだと思っています。特に、今年は担当の方でふるさとチョイスといった、ポータルサイトが持っているデータを分析し、決してプロフェッショナルではありませんが、マーケティング戦略を練り、それを実行したことが大きかったと思います。

なかには、冬期２カ月半の間が荒天続きであったため、出漁が７日前後しかできず、ベニズワイガニを返礼品として希望された方の半分ほどにしかお送りできずにご迷惑をおかけしたこともありましたが、概ね順調に進み、いろいろなことを学ぶ機会にもなりました。

それらのこともあってか分かりませんが、今年度のふるさと納税の出足は好調で、４月で３４７件、５月で３１５件と、昨年度の４月56件、５月83件よりも件数が大きく増えています。

■「ふるさと納税」ってなに?

最近は、ふるさと納税と言うと、過度の返礼品をめぐる混乱もあってか、制度そのものを快く感じていない人もたくさんでてきています。

そもそも論として、「ふるさと納税」は、「ふるさとやお世話になった地方団体に感謝し、若しくは応援する気持ちを伝え、または税の使い途を自らの意思で決めることを可能にすること」を目的に制度化されたものです。

趣旨に基づけば最近の制度をめぐる混乱は眉をひそめるものと言えるかもしれません。確かに、過去において、私も返礼品を贈ることに懐疑的でした。しかしながら、実際のふるさと納税を見てみると、寄附に基づくものとなっており、公正を原則とする税の特徴にこだわる必要はないと考えるようになりました。

■シティプロモーションの手段として

考えてみれば、これほどの低コストで市内の特産品等を全国販売できる手段は他にありません。であるならば、シティセールス、シティプロモーションの有効な手段として割り切って大いに活用しようとするのは当然と言えます。

ただ、その運用において忘れてならないのは私は品位だと思っています。言い換えれば、寄附してくれた人たちが「にかほ市に納税（寄附）して良かった」と思ってもらえるような取り組みでなければならないと思うのです。

今回、市では、平成27・28年に寄附された方々に、アフターフォローとして、いただいたお金でどんな事業をしてきたかをお知らせするために、御礼もかねた手紙を送らせていただきました。市の顔の〝見える化〟です。ちょっとした気づきです。もしかしたら、今年度のふるさと納税の出足が好調なのは、このようなことも影響しているのかもしれません。

「人に寄り添う」は、このような「ほんのちょっとの心配り」の中にあるのだと思います。

にかほ市長
市川雄次